

事務事業事後評価表

〈基本情報〉

事務事業の名称 【1】	国際交流事業		所管課【2】	企画経営課
			評価者(担当者)	田上真紀
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(5)国際交流の推進		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)国際交流活動の推進 (2)国際感覚豊かな人材の育成		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【国際交流奨励費補助金交付要綱】			
	<input type="checkbox"/> その他の計画【】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	2 項 1 目 12 細目 1

〈事務事業の目的〉

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	国際化の進展により、海外への渡航者、海外からの来日者及び在住外国人の数は増加傾向にある。これからの時代は、外国の暮らしや文化などへの理解を深め、国際化の時代にふさわしい豊かな国際感覚を身につけることが大切である。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、市内在住外国人、友好姉妹都市、玉名国際交流協会
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市民が豊かな国際感覚と国際的視野を身につけられるよう、友好都市、姉妹都市を中心に交流・協力の輪を更に広げ、文化、スポーツ、経済など様々な分野での交流促進に努める。

〈事務事業の概要〉

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【】
事務事業の具体的内容 【14】	・友好姉妹都市への公式訪問や公式訪問団の受け入れを行う。 ・玉名国際交流協会への支援の一環として補助金の支出による財源補助と運営補助を行う。 ・補助金を交付することにより国際交流を促進する。 ・グレン・ミラー音楽祭の実行委員会に補助金の交付と運営支援を行う。 ・瓦房店市からの経済訪問団の受入を行う。
	事務事業を構成する細事業【15】 ⇒ ① 友好姉妹都市公式訪問・受入事業 ② 国際交流協会支援事業 ③ 国際交流奨励費補助事業 ④ グレン・ミラー音楽祭支援事業 ⑤ 国際交流事業

〈事務事業実施に係るコスト〉

			H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	5,686	3,018	4,746	6,957	
	【16】 小計	5,686	3,018	4,746	6,957	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
職人件費	職員人工数	0.95	0.27	0.15	0.15		
	職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424		
	【17】 小計	5,330	1,464	814	814		
合計		11,016	4,482	5,560	7,771		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 友好姉妹都市公式訪問・受入事業	友好姉妹都市への公式訪問や公式訪問団の受入を行う。	公式訪問回数	回	1	0	1	2
② 国際交流協会支援事業	協会への補助金交付及び運営支援を行う。	自主活動事業数	回	12	12	12	12
③ 国際交流奨励費補助事業	補助金を交付することにより国際交流を促進する。	補助金交付件数	件	29	21	22	22
④ グレン・ミラー音楽祭支援事業	グレン・ミラー音楽祭の実行委員会に補助金の交付と運営支援を行う。	実行委員会参加回数	回	8	2	0	1
⑤ 国際交流事業	瓦房店市からの経済訪問団の受入を行う。	訪問団の受入回数	回	0	0	0	1

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
				H24実績	H25実績	H26実績	
1	姉妹・友好都市からの参加者数	姉妹・友好都市等との公式訪問派遣又は受入時の人数	人	20	0	12	36
				18	0	12	
2	各種国際交流事業参加者数	国際交流協会事業に参加した人数	人	1,200	400	1,000	1,000
				1,200	1,000	400	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	草の根の国際交流の推進に支障をきたす。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	グレン・ミラー音楽祭が中止になったことで、目標が達成できなかった。国際交流奨励費補助事業をより多くの市民に利用してもらえるよう、制度の周知を図る。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	グレン・ミラー音楽祭の実行委員会に対する補助金交付は、平成25年6月のグレン・ミラー音楽祭実行委員会の解散後、同音楽祭の運営を担う新たな組織の結成を関連団体等に促しているものの、その実現には至っていないことから未支出である。しかしながら、当該組織の立上げ後は、これに即応する必要があるため、現状のまま継続したいと考える。
昨年からの見直し・改善状況【32】	国際交流協会については、民間団体として、平成27年1月から新たな事務所での活動を開始された。国際交流協会が主催するイベントについても主体性をもって実施されている。予算決算の事務支援については、引き続き必要に応じ助言をしていく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	国際交流協会支援事業は、本市の国際交流活動の中心的な役割を担う団体への支援であるため、適正な自己財源確保がなされるまでは実施すべきである。また、国際交流奨励費補助事業は、申請理由が硬直化傾向にあり、より広範な利用者へ活用を促進するため、制度の周知方法等について改善が必要と思われる。	評価責任者 松田 智文
------------------	---	----------------